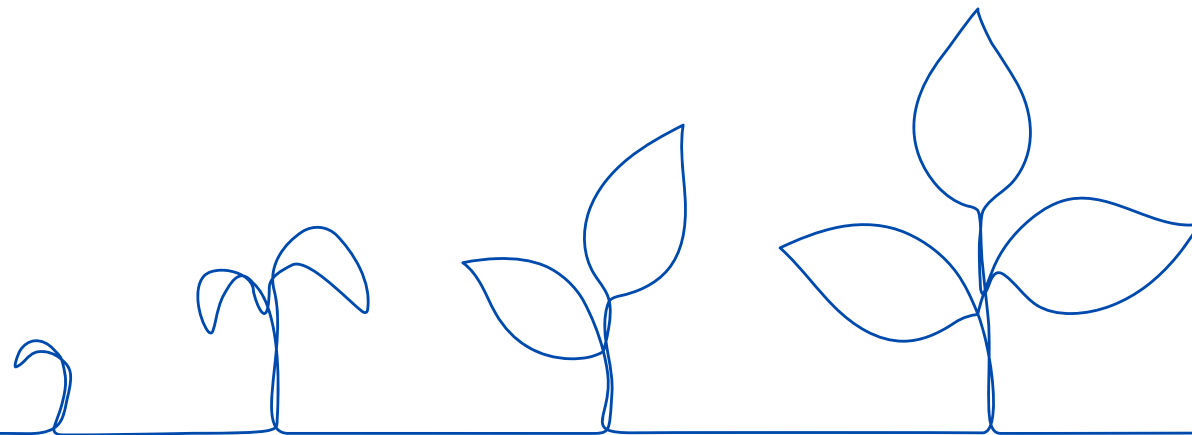




手法例：MA反発

基礎学習講座



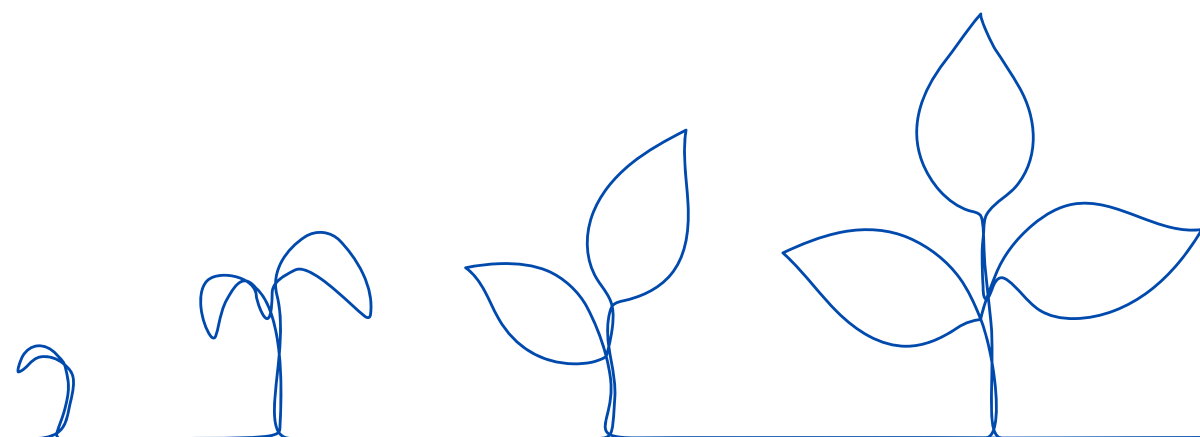


はじめに



覚える手法はシンプルな方がいい

手法とは、単にトレードの規律を守るだけでなく
自分のトレードスタイルを確立するためのステ
ップでもあります



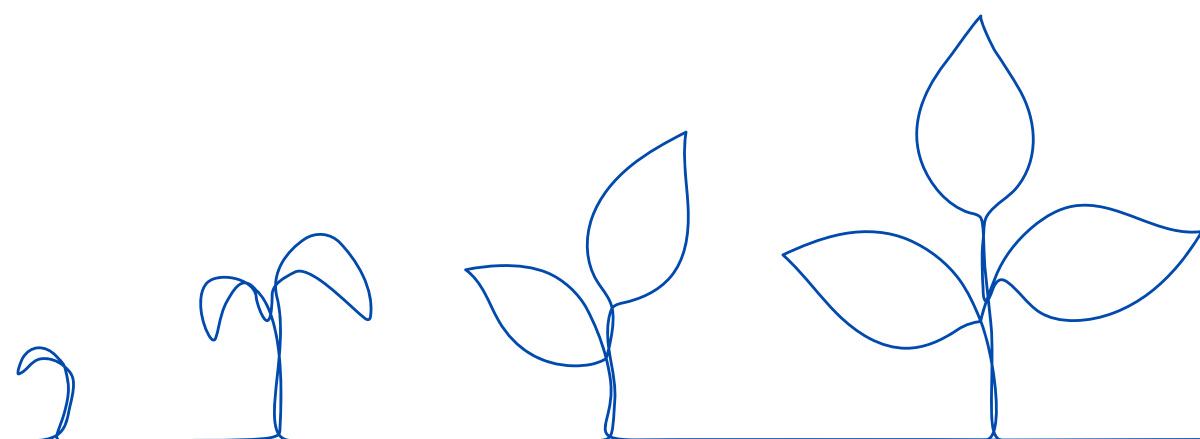


はじめに



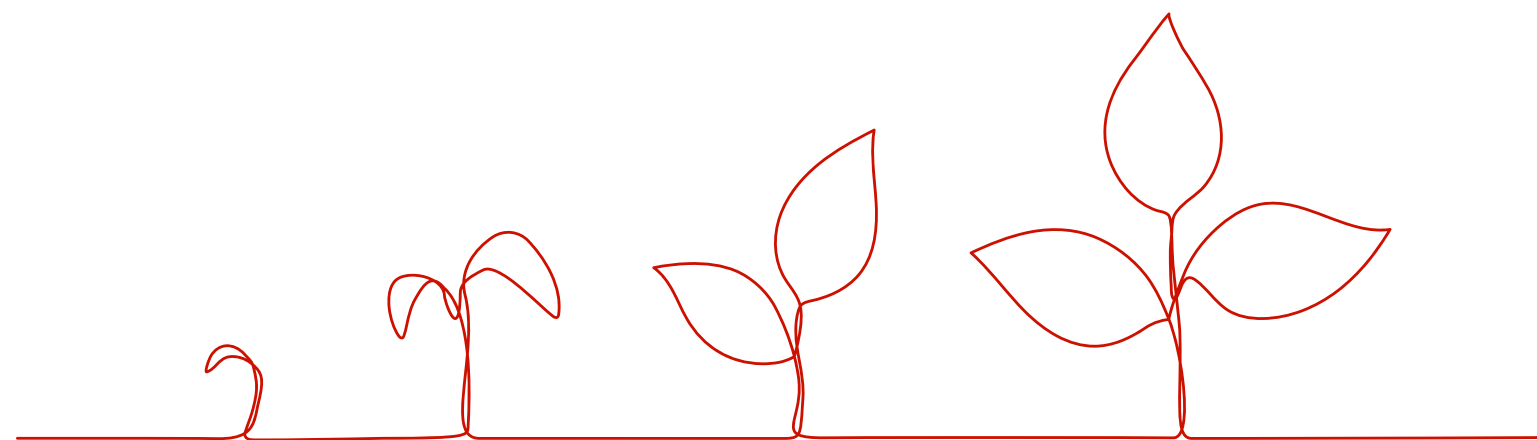
覚える手法はシンプルな方がいい

今回はシンプルなMA反発手法を例に検証作業を行い、実際にトレードに使える手法かを確認していきます





MA反発手法とは？





MA反発手法とは？



シンプルかつ効果的なトレード手法

特徴

・トレンド相場に適した手法:

移動平均線(MA)を利用することで、相場の方向性を把握しやすくなる

・シンプルで分かりやすいルール:

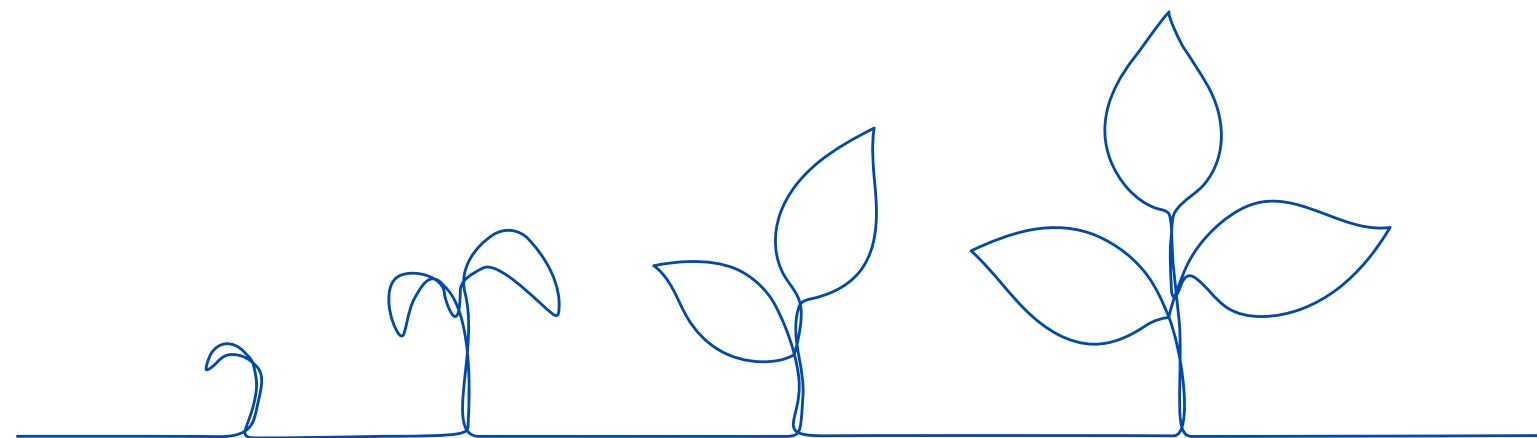
複雑な分析を必要とせず、価格が移動平均線に触れて反発したポイントでエントリーを行う

・リスク管理も同時に行う:

損切りラインの設定が不可欠



移動平均線（MA）の基本





移動平均線(MA)の基本



移動平均線(MOVING AVERAGE: MA)は一定期間の価格の平均を算出し、トレンドを視覚的に分かりやすくする指標

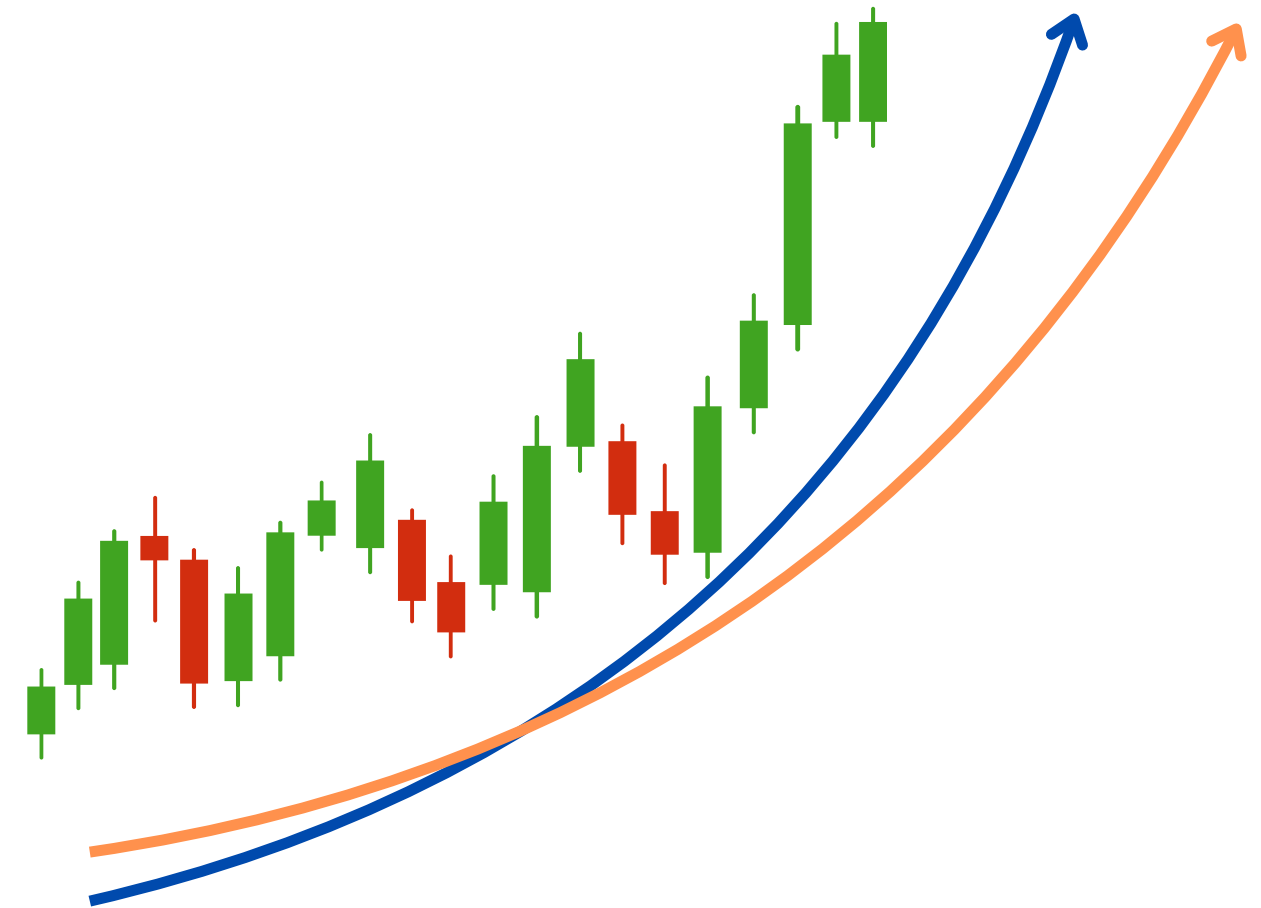
主な種類

単純移動平均線(SMA):

過去の一定期間の価格の単純平均

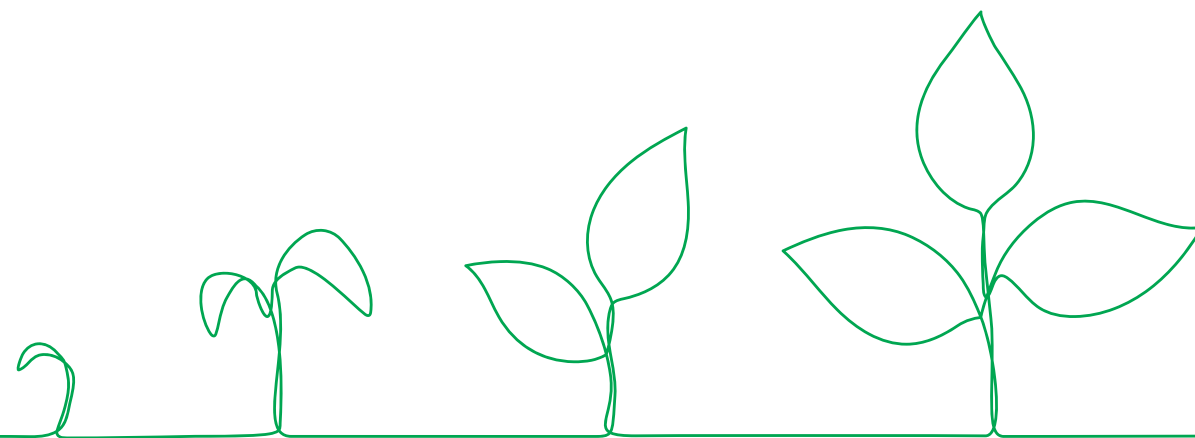
指数平滑移動平均線(EMA):

直近の価格に比重を置いた平均





MA反発手法の 具体的な使い方





MA反発手法の具体的な使い方



エントリーポイント

- 上昇トレンドの場合
 - ローソク足が移動平均線(例:20期間SMA)に一時的に下落し接触
 - 移動平均線付近で反発の兆候(陽線)が見られたらロング(買い)エントリー
- 下降トレンドの場合
 - ローソク足が移動平均線(例:20期間SMA)に一時的に上昇し接触
 - 移動平均線付近で反発の兆候(陰線)が見られたらショート(売り)エントリー



MA反発手法の具体的な使い方



損切りと利確の設定

- 損切り:

エントリー後に逆行して移動平均線を大きくブレイク確定したらすぐに損切り

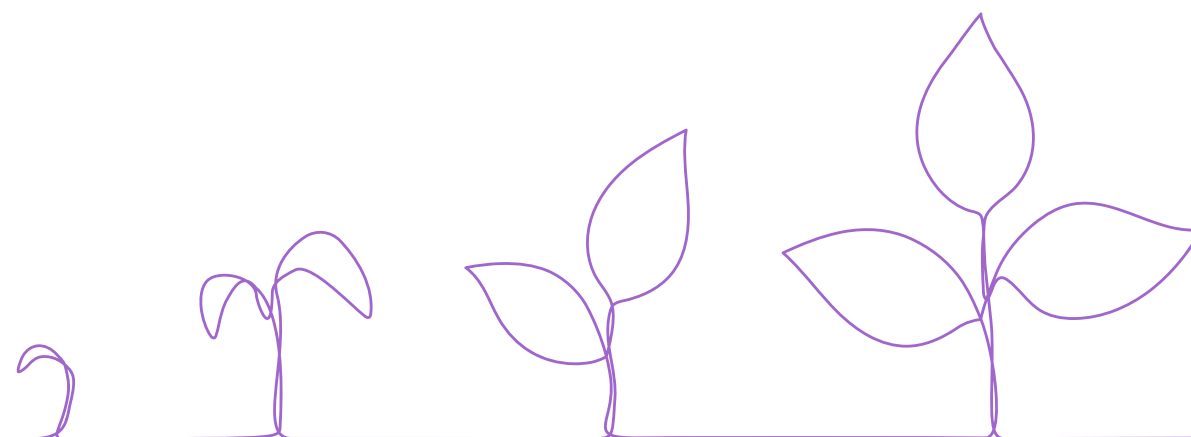
- 利確目安:

直近の高値や安値かフィボナッチリトレースメントの重要なレベル





具体例





トレンドフォローにおけるリスク管理のポイント

上昇トレンドの場合



ローソク足が移動平均線
(例:20期間SMA)に一
時的に下落し接触

移動平均線付近で反発
の兆候(陽線)が見られた
らロング(買い)エントリー



トレンドフォローにおけるリスク管理のポイント

下降トレンドの場合

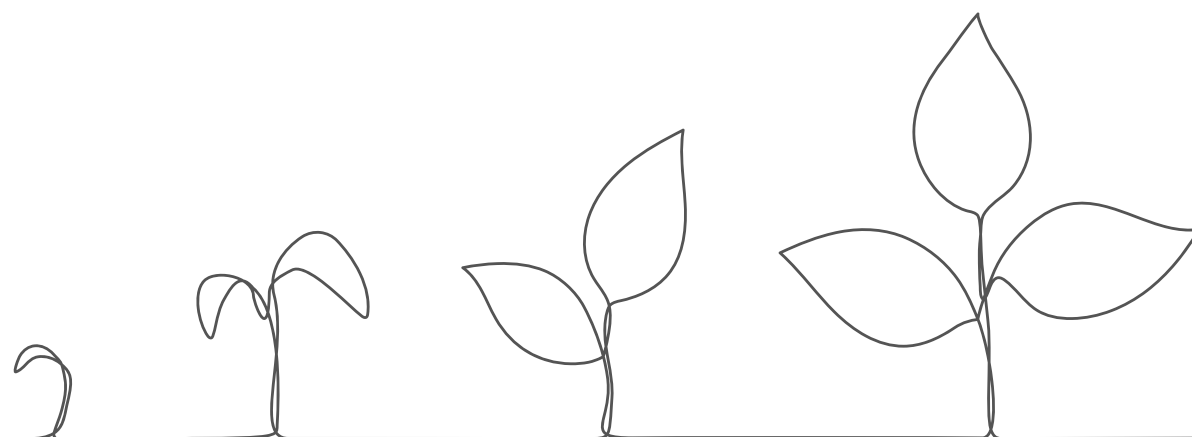


ローソク足が移動平均線
(例:20期間SMA)に一
時的に上昇し接触

移動平均線付近で反発の
兆候(陰線)が見られたら
ショート(売り)エントリー



まとめ



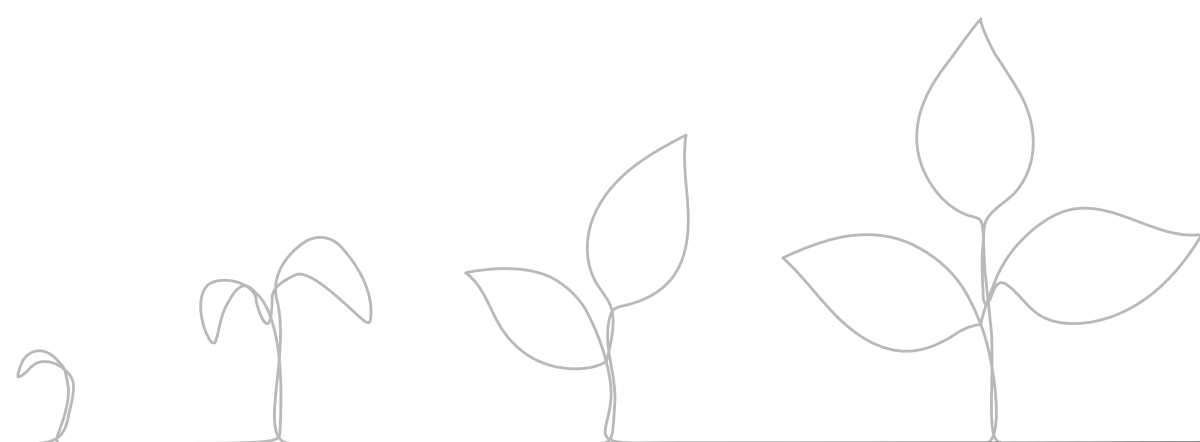


まとめ



まとめ

MA反発手法はトレンド相場の中でリスクを抑えつつ
価格の一時的な動きを利用して利益を得るシンプル
で効果的な手法です



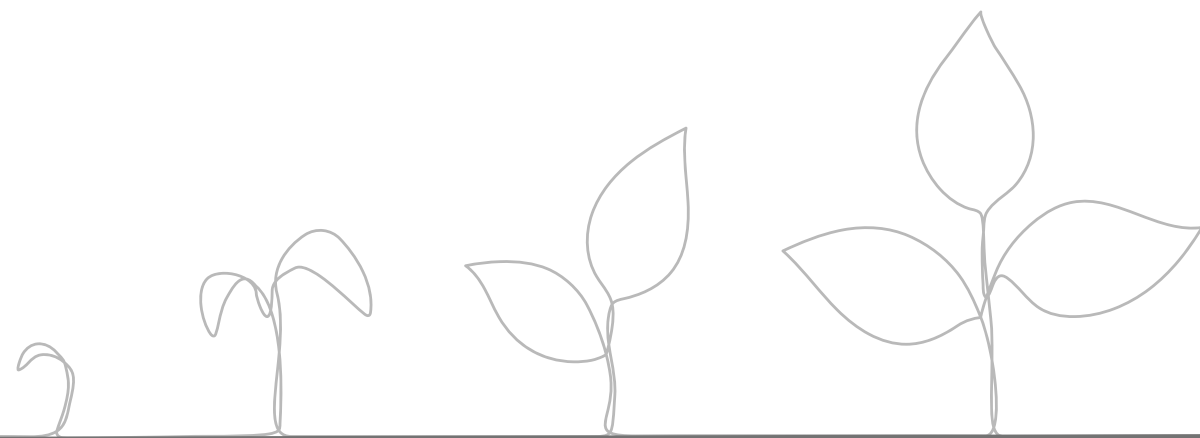


まとめ



まとめ

しかし、必ずしも反発が起こるわけではないため損切りを必ず設定し、リスク管理を徹底することが重要です
まずは移動平均線を使った反発手法を検証してみ
て、分析してみましょう



プロトレーダーを目指す者が本気で磨ける場所



知識は力に! 検証は武器に! 学びを仕組みに! 勝ちを習慣に!